

日本赤十字放射線技師会 第 59 回定期総会報告

日本赤十字放射線技師会

総務担当 山本 晃司

平成 24 年 5 月 31 日（木）東京国際フォーラム ホール D - 5 において、会員参加者 118 名、委任状提出者 1087 名を得て「日本赤十字放射線技師会 第 59 回定期総会」が開催されました。

議事に先立ち清水会長から「今回の総会は、災害医療支援の表彰式に関連してメーカーの方々にもご臨席を賜っております。この 1 年間は本当に色々な出来事で私自身も揺れた年であり、揺れを止めてくれたのが理事の方々でした。これからは定期総会を基に、躍るが如く突き進んでいきたいと思っております。今後とも会員の皆様のご意見やご協力を頂きながら会の発展の為頑張っていきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。」と挨拶がなされました。

続いて当放射線技師会の発展に大変ご尽力され名誉会員でもあり、昨年亡くなられた小成田様、瀬山様、また東日本大震災によって亡くなられた多くの方々のご冥福を祈って全員で 1 分間の黙とうが捧げられました。

総会次第に基づき、表彰委員長戸口理事より功労賞として 12 名が紹介されました。なお奨励賞については施設、個人ともに該当者はありませんでした。表彰式終了後、昨年発生した東日本大震災で機器の貸し出しなど、当放射線技師会を支援して頂いた企業 5 社 株式会社日立メディコ、富士フイルムメディカル株式会社、株式会社ナナオ、コニカミノルタヘルスケア株式会社、株式会社保科製作所の皆様に感謝状が贈られました。

今回、総会議長を務められたのが原町赤十字病院 萩原 健氏、熊本健康管理センター 長野 勝廣氏。議事録署名人として福岡赤十字病院 八波 誠一氏、熊本赤十字病院 耕 仁征氏。採決係りは 八戸赤十字病院 大澤 哲平氏、さいたま赤十字病院 尾形 智幸氏がそれぞれ任命されました。

議事について、第 1 号議案から第 3 号議案である平成 23 年度の事業報告、決算報告、監査報告が常任理事、監事よりなされましたが、それぞれ質問もなく賛成 118、反対 0 で承認されました。

第 4 号議案、第 5 号議案である来年度事業計画案、予算案についても賛成 118、反対 0 で承認されました。只、予算案について会員よりブロック活性化の為、予算枠増額の要望が出されました。これについて、清水会長は地区の活性化の重要性は認識しているが、昨年度 15 万円に増額されたばかりなので今後の検討課題としたいと回答しました。

その他の議事として、浅妻理事より会費納入規定及びブロック設置規定の改定、新たに追加された施設、施設名称変更の報告がそれぞれなされました。また、清水会長より日本赤十字放射線技師会 鈴木前会長、益井前会長の名誉会員への承認提案がなされ賛成 118、反対 0 で可決されました。

1 時間程で全ての議事は終了し、辻副会長の挨拶を持って定期総会は閉会となりました。

総会次第

- ① 開会の辞
- ② 会長挨拶
- ③ 表 彰
- ④ 総会議事運営報告
- ⑤ 議長選出

⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命

⑦ 議事

第 1 号議案	平成 23 年度事業経過報告
第 2 号議案	平成 23 年度決算報告
第 3 号議案	平成 23 年度監査報告
第 4 号議案	平成 24 年度事業計画(案)
第 5 号議案	平成 24 年度予算 (案)
第 6 号議案	その他

⑧ 議長解任

⑨ 閉会の辞